

優先度付けの考え方 概念図

最終目標: 我が国の生物多様性の保全

多種多様な外来生物とそれが引き起こす問題

基礎情報の把握

- 情報収集1 実際の影響や問題についての状況把握
 - 定着状況の情報
 - 被害に関する情報
 - 新たに侵入してくる生物に関する情報 等
- 情報収集2 防除の実施状況の把握
 - 各主体で取り組んでいる防除に関する情報 等

外来生物による影響に関する情報

防除の実施状況に関する情報

「優先度の整理」

- ・数ある防除に優先度をつけることによる効果的・効率的な防除の推進
- ・限られた予算や人手の最適な配分を行う

第一段階 防除の必要性の評価

★被害の深刻度・規模の観点からの優先度評価

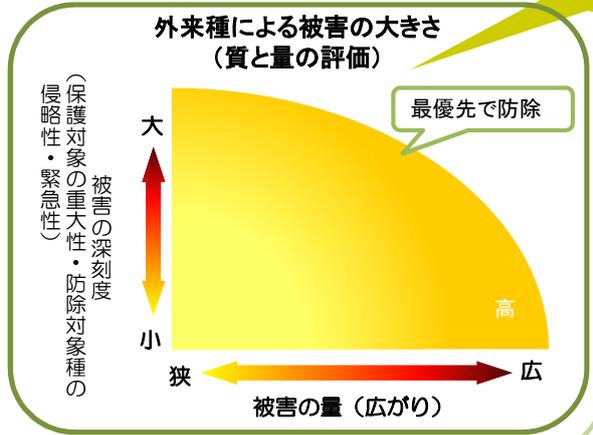
外来種による被害の大きさ (おそれも含む) からの評価

被害の深刻度

- 被害が及び保全対象 (種・地域) の重大性 (RL種、国立公園、世界遺産等)
- 防除対象種の侵略性 (被害の有無、種の特性)
- 緊急性 (拡散・定着時間の長短)

被害の広がり

- 被害の規模 (生態系・人体への影響の大小、影響範囲の広狭) 等



何を守りたいのか
防ぎたいのか

★種としての優先度評価

- 種の特性
 - ・繁殖能力の強弱
 - ・逸出可能性の高低
 - ・定着可能性の有無
 - ・競合種の有無 等

- 被害の有無
 - ・在来種の捕食
 - ・競合、
 - ・交雑、
 - ・生態系基盤の損壊 等

侵略的外来種
リストにて検討

第二段階 防除の内容・手法の評価

★防除の実行可能性・実効性・効率性の観点からの優先度評価

- 防除の実行可能性・実効性
 - ・目標の達成可能性 (防除効果の大小)
 - ・実施主体の有無
 - ・防除困難性 (防除手法の有無、期間の長短)
 - ・予算の有無
 - ・上記の実施要件を確保した状態での継続性

- 防除の効率性 (費用対効果等)
 - ・防除レベル (根絶、密度低減 等) と防除規模 (努力量/年) ・スケジュール (目標期間)
 - ・保全対象の維持回復の可否
 - ・防除実施後の被害再発防止策の検討
 - ・保全 (種・地域) 対象の危機状況の検討
 - ・主体間での連携の検討
 - ・上記を包括する総合的な検討
 - ・推進する防除のコストと得られる成果 (防除の費用対効果)

ターゲットが
明確か

効果が高い
防除手法か

効果的・効率的
な防除の検討

防除対象に関する
基礎情報の把握

防除の優先度
を踏まえて

優先度の高い防除事業について、防除の目標設定、予算配分、
人員配置、防除の内容・手法の計画立案

実施結果をモニタリングして、その結果をフィードバックして順応的管理